

尚美学園大奮闘 W杯3連覇

沸き上がれ 女子野球



日本代表として女子野球W杯3連覇に貢献した尚美学園大女子硬式野球部の(左から)大山唯選手、新井純子ヘッドコーチ、磯崎由加里選手、出口彩香選手

女子野球の第5回ワールドカップ(W杯)が8月11日から19日にカナダで行われ、日本は決勝で米國を3-0で下して3連覇を達成した。尚美学園大(川越市)から現役OGパンや、ヤングなど10人の活躍で波に乗る女子サッカー合わせて8人が代表に選ばれ、準決勝決勝で好投した3年

(伊部侑甫)

話題 スポット

⑩ 決勝で完封勝利

昨年から日本代表の指揮を執る新谷博監督(48)は、プロ野球の西武などで投手として活躍し、2006年の尚美学園大女子硬式野球部の創設時から監督を務めている。今大会から初めてプロ選手を日本代表に招集し、豊富な投手陣と攻守のバランスに優れたチームをつくり上げた。日本は6勝1敗の予選1位で準決

⑪ 高校野球のシレンマ

山口県出身の磯崎選手は小学1年生のときに少年野球チームに入り、中学では男子硬式野球部に所属。自らのキャッチボールする相手の男子部員が「かわれた」といって、思春期ならではのつらい思いを経験した。それでも「野球をやめたいと思

⑫ 普及の鍵は環境整備

他競技への選手流出も大きな課題。尚美学園大ヘッドコーチを務める新井純子選手(37)は、小学2年生のころから坂戸の女子野球チームでプレーしていた。しかし、進学先に向けた「野球が好き」という気持ち、部に入部。実業団でのプレーを経験し、新たな決意が込められていた。



大会MVPを獲得した磯崎由加里選手

女子野球 国内の競技人口は硬式、軟式を合わせて約3000人。25チームが参加する関東ビーナスリーグや、近畿地方の独立プロリーグが熱戦を繰り広げている。最高峰の舞台であるW杯は2年ごとに実施されている。



2012年(平成24年) 9月9日 日曜日

埼玉新聞社 〒331-8686 さいたま市北区吉野町2-282-3
本社代表 048-795-9930

歴史と物産の館
道の駅おかべ
国道17号深谷バイパス沿い(大駐車場完備)
埼玉県深谷市岡688-1
TEL: 048-585-5001

16 宿泊して避難所体験

深谷市総合体育館ビッグタートルで、避難所の体験訓練が行われた。7~72歳の市民約60人が、体育館のフロアに段ボールで仕切りを設けるなど寝床を作って一夜を過ごした。



17 川口に万華鏡博物館

国内唯一の「日本万華鏡博物館」が、川口市幸町にオープンする。大熊進一館長は「200年の歴史を展望できるのは世界でここだけです」と胸を張る。展示品は約2000点。



- 3 中国南部地震74万人被災
- 6 成年後見制度でセミナー
- 7 熊谷で地元画家の作品展
- 9 車いすラグビー初の4強

墓石を建てない新しいかたち
グリーンメモリアル川島
比企郡川島町畑中635-1
TEL 049-299-4757
http://www.entsuui.or.jp/gmk

きょうのお天気				紫外線		熱中症		秩父		北部		県内予報		
熊谷	さいたま	秩父	所沢	12	18	24時	注意	警戒	9日	10日	11日	12日	13日	14日
晴	晴	晴	晴	★	★	★	非常	非常	晴	晴	晴	晴	晴	晴
34	33	32	32	20%	20%	20%	注意	警戒	34	34	33	34	33	33
23	24	20	23	20%	20%	20%	注意	警戒	20	20	22	22	22	23
20%	20%	30%	20%	20%	20%	20%	注意	警戒	20	20	22	22	22	23
20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	注意	警戒	20	20	22	22	22	23